

産科・麻酔科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 双胎児間輸血症候群に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術の周術期管理の検討

[研究機関] 北海道大学病院産科・麻酔科

[研究責任者] 田中 暢洋（麻酔科・助教）

[研究の目的] 双胎児間輸血症候群に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術ができる施設は全国で 8 施設のみで非常に稀です。同じ施設でのまとまった報告は少なく、どのように麻酔をしてきたかまとめて報告し、今後周りの施設で同じような妊婦さんが麻酔を受ける際の参考になるよう報告します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

双胎児間輸血症候群で当院に受診された妊婦さんで、**2008 年 8 月 1 日から 2016 年 8 月 31 日まで**に胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①基本情報：年齢
- ②疾患情報:妊娠週数、双胎児間輸血症候群の病期、術前の治療内容
- ③手術・麻酔記録からの情報：手術・麻酔時間、麻酔法、輸液量、その他使用薬物
- ④血液検査：末梢血、凝固系、生化学検査など
- ⑤カルテからの情報：術後の経過（児の予後を含む）、出生時の妊娠週数、母子の有害事象の発生の有無

[個人情報取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりました

い場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院麻酔科 担当医師 田中 暢洋・森本 裕二

電話 011-716-1161(内線 5982) FAX 011-706-7861